IH クッキングヒーター専用
室 内 循 環 フ ー ド

取付説明書

もくじ

販売店・工事店様へ：
この取付説明書は取り付け後、施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。

1J03 0683

安全上のご注意

- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区別しています。
  いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

⚠ 注意：人が軽傷を負う可能性および物的損害*の発生が想定される内容。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区別し、説明しています。

絵表示の例

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

⚠ 警 告

使用禁止

● **IHクッキングヒーター以外には使用禁止**
ガスコンロには使用できません。
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります。

換気をする

● **燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をすること**
本製品は屋外への排気および換気をおこないません。
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください。
一酸化炭素中毒の原因となります。

分解・修理・改造禁止

● **修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

取付注意

● **配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと**
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを取り付ける

● **アースを確実に取り付けること**
故障や漏電のときに感電することがあります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

取付禁止

● **周囲温度が 40℃以上になる所には取り付けないこと**
火災・故障の原因となります。

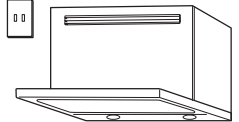
取付注意

● **室内循環フードの取り付けは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないようにすること**
漏電した場合、発火するおそれがあります。

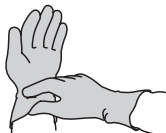
埋込禁止

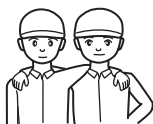
● **室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと**
漏電した場合、発火するおそれがあります。

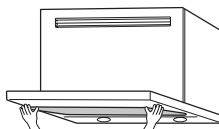
使用禁止

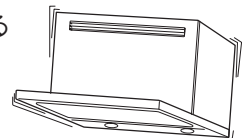
● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

手袋をする

● **取り付けの際は必ず厚手の手袋をすること**
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります。

取扱注意

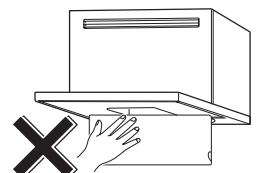
● **作業は2人以上でおこなうこと**
製品は約 48kg の重さがあります。

取付注意

● **ファンや部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります。

取付注意

● **本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと**
落下によりけがをすることがあります。

使用禁止

● **浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと（浴室用換気扇をお使いください。）**
感電および故障の原因になります。
（本製品には換気機能はありません。）

接触禁止

● **運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと**
けがをすることがあります。

取り付け上のお願い

● **下記は「建設工事」に区別され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。**

・大工工事
（設置のための地下工事等）
・配線工事
（コンセントの設置、コンセント・コネクタ利用以外の配線接続等）

流通業者（販売店）を通して組立•設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

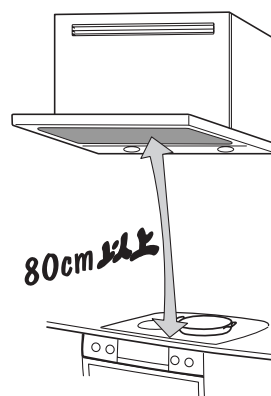
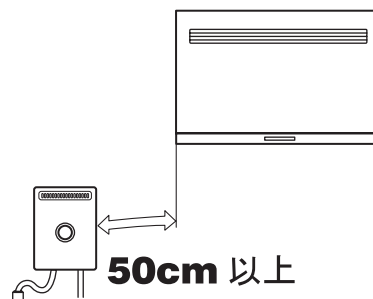
● **室内循環フードは、屋外への排気をしません。**
備え付けのＩＨクッキングヒーター以外の燃焼器具を使用するには、キッチン全体の換気のため、別の換気設備が必要です。

● **室内循環フード本体と可燃物との間は 10cｍ以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。**

● ＩＨクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。
またＩＨクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集効率が低下します。

● 電源は専用のコンセントおよびブレーカを設けてください。火災・故障の原因となります。

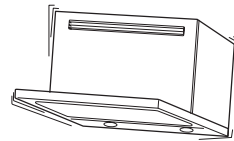
● 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。

● 製品はＩＨクッキングヒーターの真上に取り付けてください。なお、製品取付高さは、製品の下端がＩＨクッキングヒーターの真上 80cｍ以上になるようにしてください。

● 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けないでください。また、横方向 50cｍ以上離して取り付けてください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因となります。

取り付け前の調査と準備

⚠ 注 意

取付注意

● **室内循環フード本体の取り付けは、十分強度のある取付面または補強桟等に確実におこなうこと**

落下によりけがをすることがあります。
壁材が薄く弱いと振動音が発生することがあります。

お願い

室内循環フード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

1 取付面の強度確認

製品を支える強さが必要です。

製品単体質量	48.0 kg

■ 板張りの場合（取付面は必ず不燃処理をおこなってください）

● 板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み、補強板に室内循環フードを取り付けてください。

● 板厚が20mm以上の場合は補強板は不要です。

■ コンクリート、タイル壁の場合

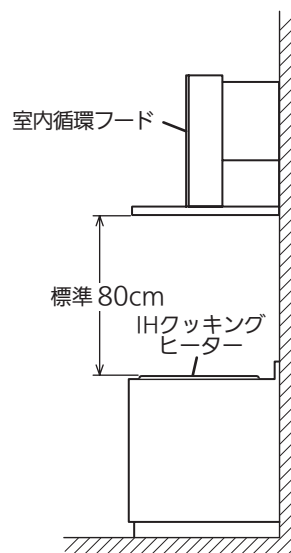
● あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。

■ 土壁の場合

● 柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでおいてください。

2 標準取付寸法

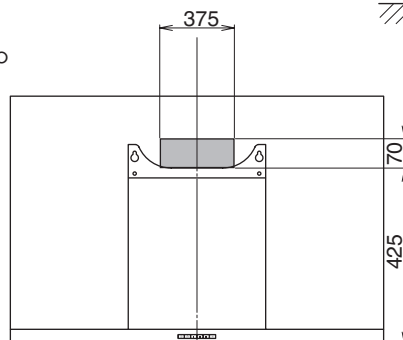
本製品の標準取付寸法は、ＩＨクッキングヒーターの上面から製品の下端まで80cmです。

※火災予防条例では、グリスフィルターの下端が調理器具の真上80cm以上必要となっています。

3 電源線・ブレーカ

・本体を設置する場所に電源線（VVFケーブル2芯 φ1.6またはφ2.0）とアース線を1500mm引き出してください。
（本製品は交流・単相100V仕様です。）

・電源取り出し穴を右図の位置に設けてください。

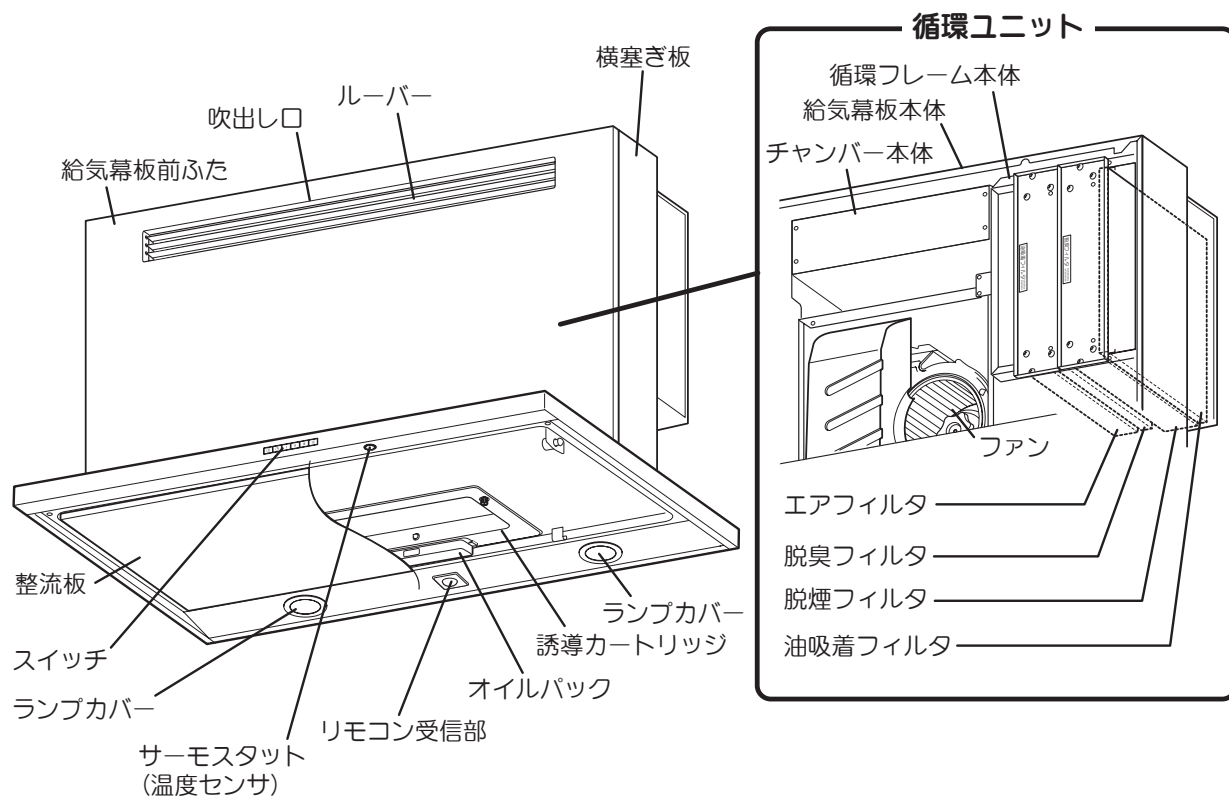
・ブレーカは専用のものを設置してください。

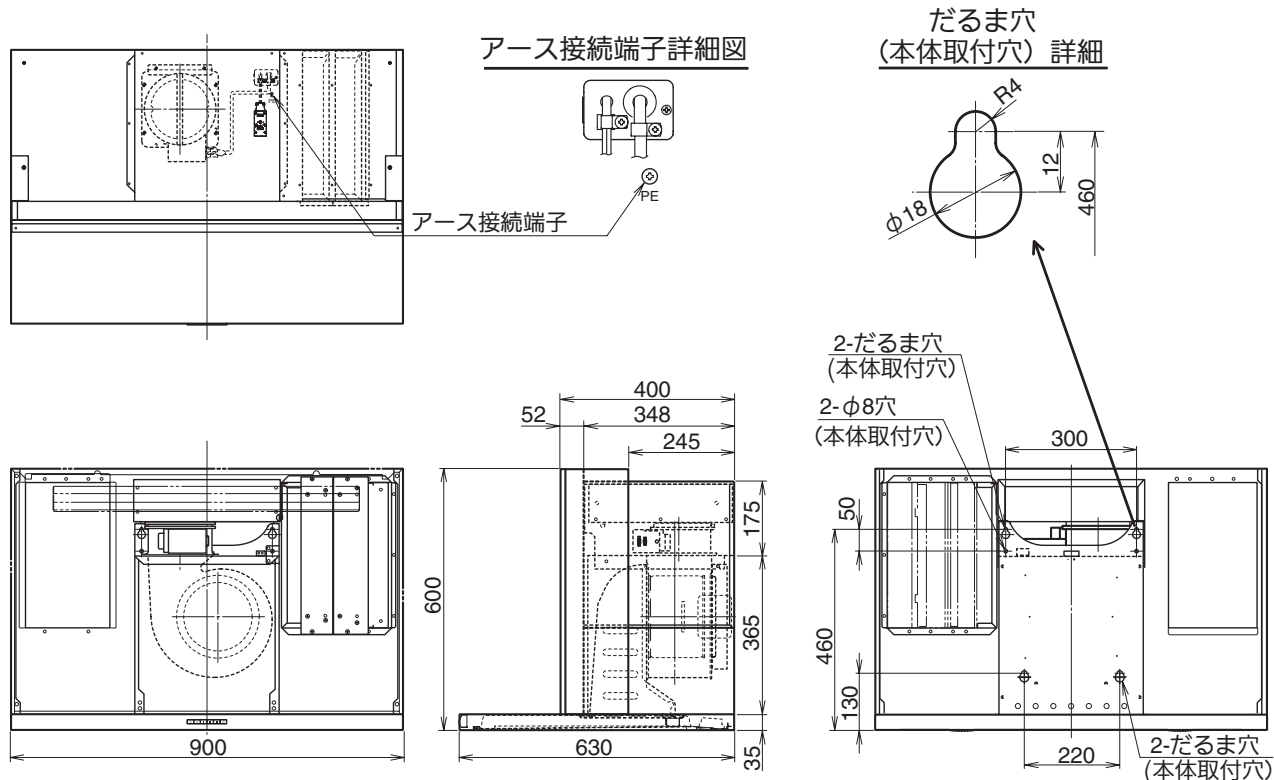
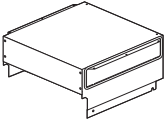
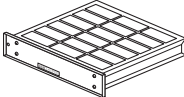
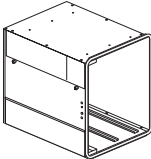
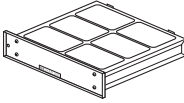
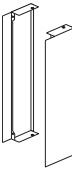
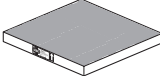
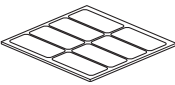
375
70
425

お願い

必ずアース（D種接地工事）をしてください。
室内循環フードが誤作動することがあります。

1J03 0683

各部の名称・製品寸法図

各部の名称

製品寸法図

付属品

室内循環フード本体付属品

	品名	用途		品名	用途
	座付ねじ φ 5.1 × 45 （6本）	本体の取り付けに使います。		ナベねじ M4 × 8 （25本）	循環ユニットの取り付けに使います。
	ブッシュ （2個）			トラスねじ M4 × 10 （10本）	循環ユニット、前ふたおよび各フィルタの取り付けに使います。
	取付金具 （1個）	循環ユニット構成部品です。		オイルパック （1個）	本体に取り付けます。
	給気幕板本体 （1枚）			ソフトテープ （1本）	給気口と油受けとの隙間を塞ぐのに使います。
	給気幕板前ふた （1枚）			排気口 （電動シャッター） （1個）	本体と油受けの接続に使います。

付属品収納箱内

	品名	用途		品名	用途
	チャンバー本体 （1個）	循環ユニット構成部品です。		油吸着フィルタ （1個）	循環ユニット構成部品です。
	循環フレーム本体 （1個）			脱臭フィルタ （1個）	
	横塞ぎ板（左・右） （2枚）			脱煙フィルタ （1個）	
	塞ぎ板 （1枚）			エアフィルタ （1個）	

取り付けかた

1. 付属品の確認

本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。
室内循環フード本体部から付属品を取り出し、上記の付属品一覧により不足がないか確認してください。

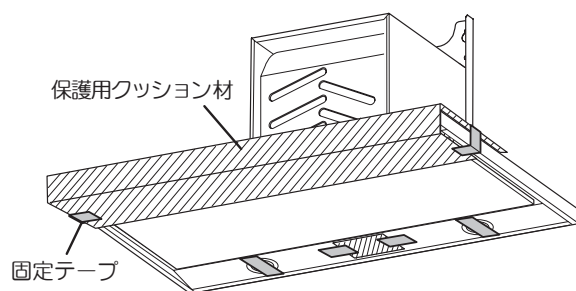
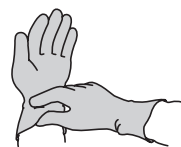
注 意

手袋をする

● **製品取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること**

鋼板の切り口や角でけがをすることがあります。

お願い

- 保護用のクッション材と固定テープはキズ・破損防止のためはずさないでください。
- 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- 各種フィルタ類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶつけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。
- 床で作業する場合、本体および床にキズをつけないため、必ず保護シートを敷いた上で作業をおこなってください。

取り付けかた

2. 排気用部品の準備

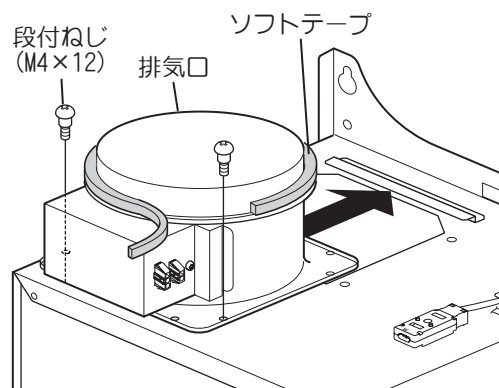
1 **「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。
また、製品を正立（整流板を下にする）させてください。**

2 **排気口を取り付けます。**

1）排気口に付属品のソフトテープを貼り付けます。

2）本体に付いている段付ねじ２本を取りはずした後、付属品の排気口を取り付けます。
取付方向は右図を参照してください。
※ 近傍の皿ねじは取りはずさないでください。

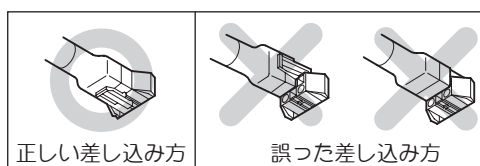
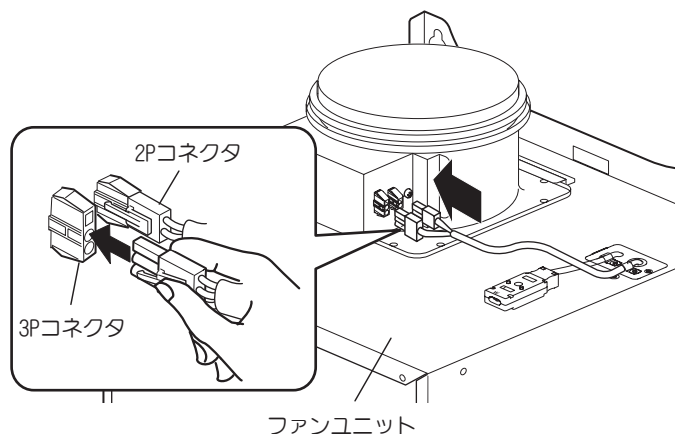
お願い

手動でシャッターを開閉すると故障の原因となりますのでおやめください。

取り付けかた

3）排気口のソケットに本体から出ている排気口連動出力コネクタ（2ピンコネクタと3ピンコネクタ）を接続します。

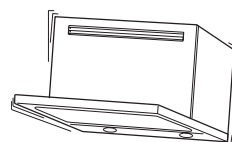
お願い

コネクタの接続について

コネクタを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。
接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。

3. 本体の取り付け

⚠ 注意

取付注意

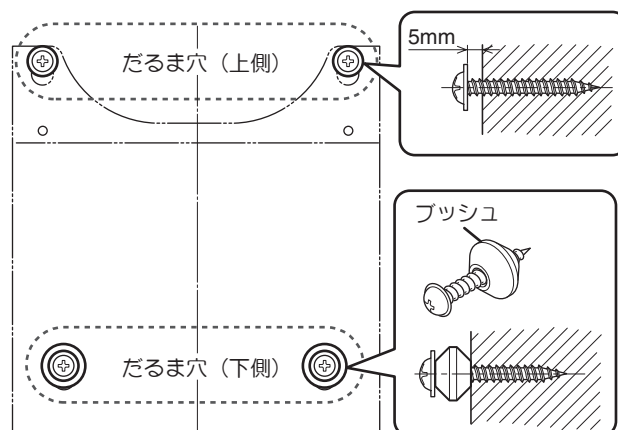
● **本体の取り付けは十分強度のあるところを選んで確実におこなうこと**
落下によりけがをすることがあります。

取付注意

● **部品の取り付けは確実におこなうこと**
落下によりけがをするおそれがあります。

1 だるま穴用座付ねじ4本をねじ込みます。

※取付寸法は6ページの「製品寸法図」を参照してください。

1）上側のだるま穴位置（2ケ所）に座付ねじ（φ 5.1 × 45）2本をねじ込み、壁面との隙間5mmまで締め付けてください。

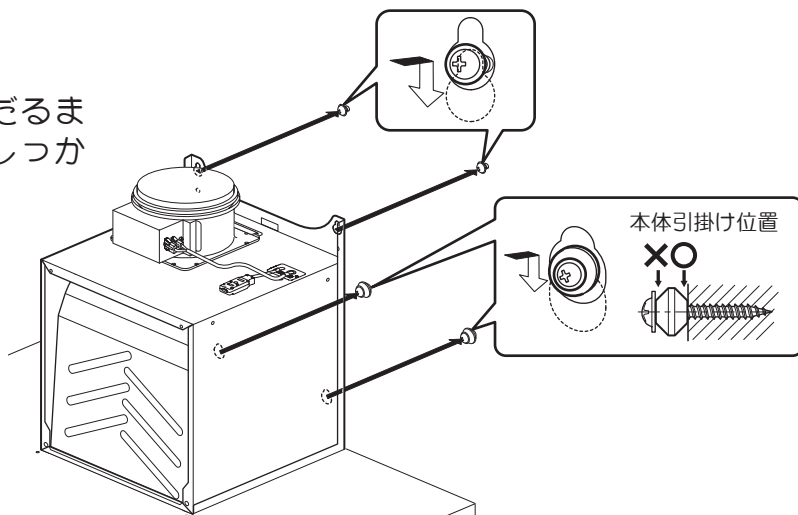
2）座付ねじ（φ 5.1 × 45）2本にブッシュを取り付け、下側のだるま穴位置にねじ込んでしっかりと締め付けます。

※ブッシュが壁に食い込まない程度に締め付けてください。
ブッシュが壁に食い込んでしまうと本体が取り付かないおそれがあります。

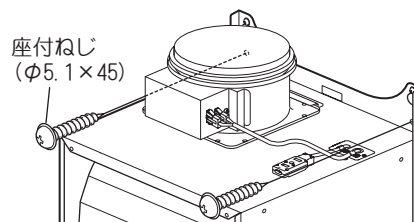
取り付けかた

2 本体を引っ掛け固定します。

取り付けた座付ねじ４本に本体のだるま穴を引っ掛けた後、上側の２本をしっかり締め付けてください。

お願い

本体取り付けの際は、背面下側のだるま穴の切り欠きを必ず正しい位置に引っ掛け固定してください。製品が傾いて取り付けられるおそれがあります。

3 座付ねじ2本でさらに固定します。

上側だるま穴の下にある２ケ所のφ８穴に座付ねじ（φ 5.1 × 45）２本をしっかりと締め付けて固定します。

4. 電気配線

⚠ 警 告

分解・修理・改造禁止

● **修理技術者以外は、絶対に分解したり修理・改造しないこと**
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります。

使用禁止

● **交流 100 V以外では使用しないこと**
火災・感電の原因になります。

取付注意

● **電気配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと**
誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります。

アースを取り付ける

● **アースを確実に取り付けること**
故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取り付けは販売店にご相談ください。

■ 必ずアース（D種接地工事）をしてください。
電源端子台付近の PE 端子にアース線を接続します（11 ページ参照）。
※ アース線は取付作業者側にて手配してください。

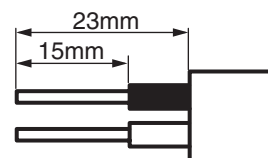
■ 電源線およびアースの接続が終わったら、ブレーカを「入」にします。

お願い

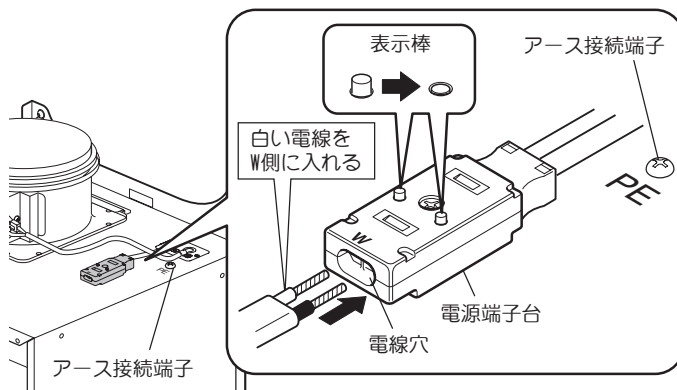
ブレーカは専用のものを設置してください。

1

電源端子台への接続は、電線被覆を２本ともストリップゲージに合わせてむきます。

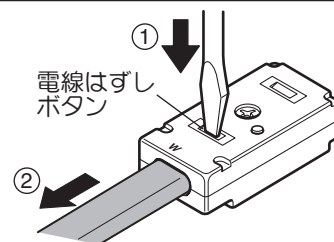
ストリップの長さを必ず確認してください。
適用電線はφ 1.6 またはφ 2 VVF2 芯 Cu（銅）単線専用です。

取り付けかた

2 白色の電線がW側に入るように、電線穴に芯線を2本同時に差し込み、表示棒が下がることを確認してください。

3 充電部の露出がないことを確認してください。

お願い

ストリップ長さが適切でない場合や表示棒が下がっていない場合は、端子部の異常発熱の原因になり危険ですので、ストリップ長さを再度確認の上、結線をやり直してください。

電源線のはずしかた

電線はずしボタンをマイナスドライバーで押しながら（ ① ）、電線を引き抜く（ ② ）。

5. チャンバー本体・横幕板の取り付け

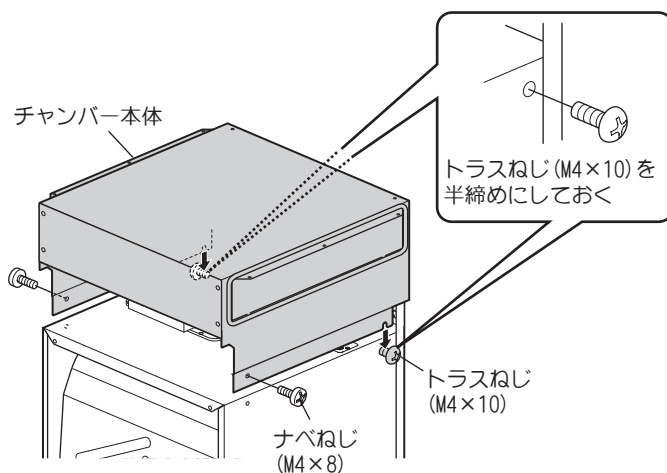
1 **チャンバー本体を取り付けます。**

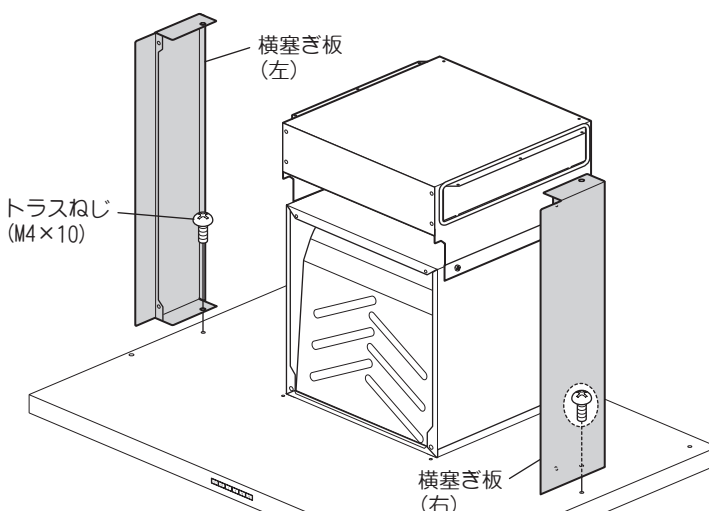
1）ファンユニット左右奥側上部に付属品のトラスねじ（M4 × 10）を半締め状態にして取り付けます。

2）チャンバー本体下側の切り欠き部をトラスねじ部に差し込み、トラスねじをしっかりと締め付けて固定します。

お願い

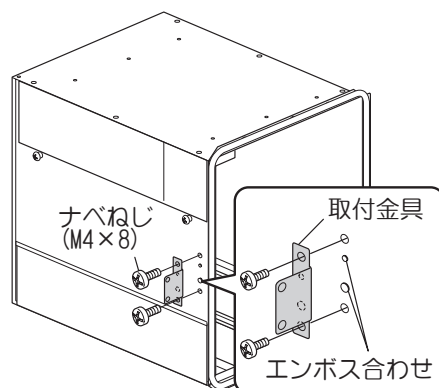
チャンバー本体内の丸穴にフードの排気口を合わせながら取り付けてください。

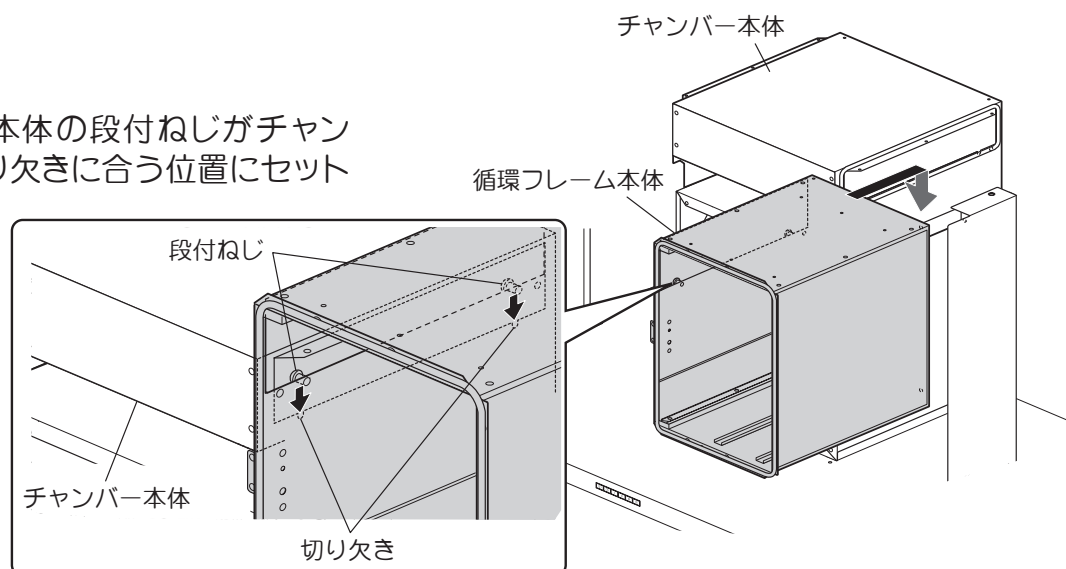
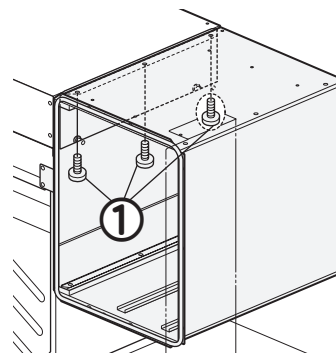
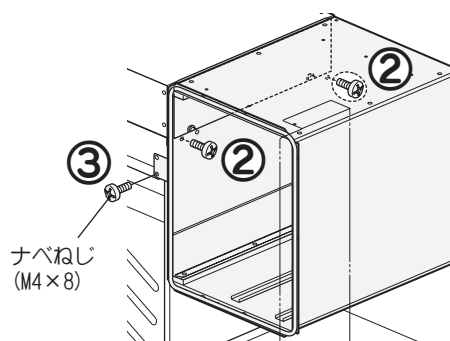
3）前側左右を付属品のナベねじ（M4 × 8）各1本で固定します。

2 **横塞ぎ板（左・右）を取り付けます。**

付属品のトラスねじ（M4 × 10）各１本で横塞ぎ板（左・右）をそれぞれフード本体に固定します。

取り付けかた

6. 循環フレーム本体の取り付け

1 **循環フレーム本体を準備します。**

図のように付属品の取付金具を循環フレーム本体に付属品のナベねじ（M4 × 8）２本で取り付けます。

2 **循環フレーム本体をチャンバー本体に取り付けます。**

1）循環フレーム本体の段付ねじがチャンバー本体の切り欠きに合う位置にセットします。

2）付属品のナベねじ(M4×8) 3本でフランジ部に固定します（ ① ）。

3）付属品のナベねじ(M4 × 8）２本で側面を固定します（ ② ）。

4）付属品のナベねじ(M4 × 8）１本で前側をフード本体に固定します（ ③ ）。

取り付けかた

7. 給気幕板本体の取り付け

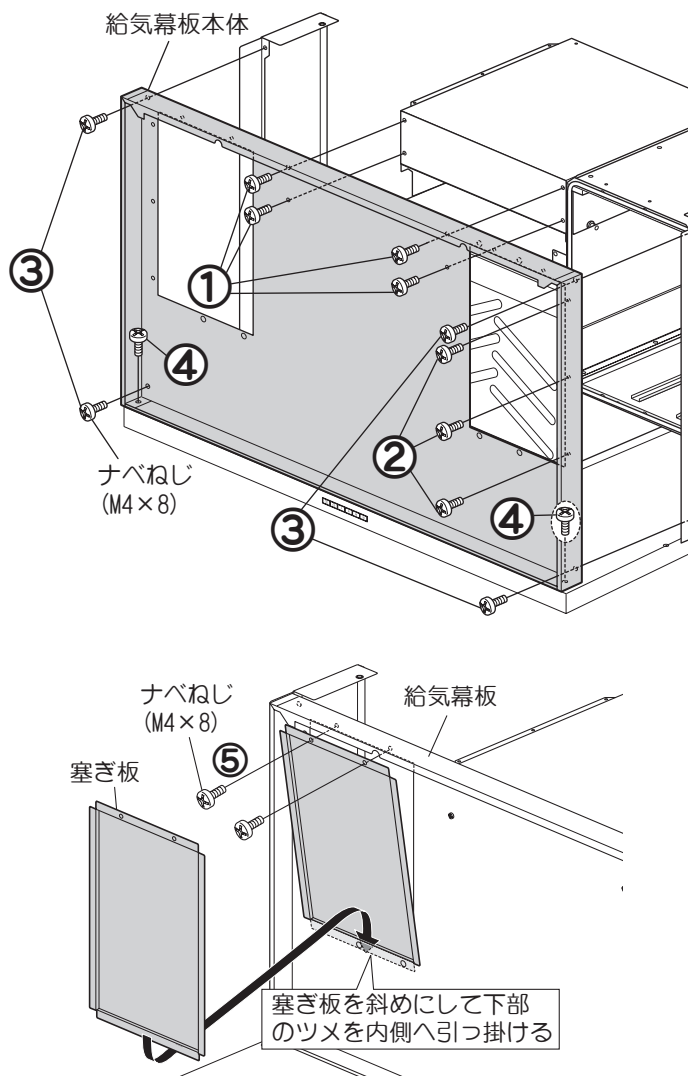
給気幕板本体を取り付けます。

1）付属品のナベねじ（M4 × 8）４本でフード部に固定します（ ① ）。

2）循環フレーム本体フランジ部に付属品のナベねじ（M4 × 8）３本で固定します（ ② ）。

3）給気幕板本体四隅を付属品のナベねじ（M4 × 8）４本で横塞ぎ板に固定します（ ③ ）。

4）給気幕板本体下側を付属品のナベねじ（M4 × 8）２本でフード本体に固定します（ ④ ）。

5）塞ぎ板の下側にあるツメを給気幕板の開口部内側に引っ掛け、上部をナベねじ（M4 × 8）２本で固定します（ ⑤ ）。

8. 各フィルタの取り付け

各フィルタを取り付けます。

お願い

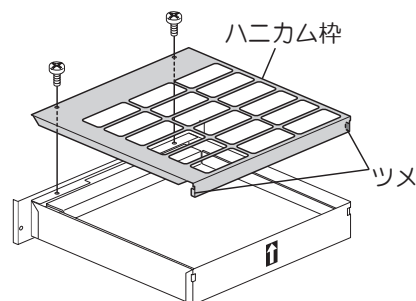
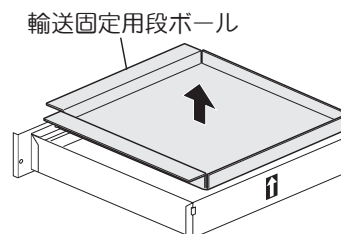
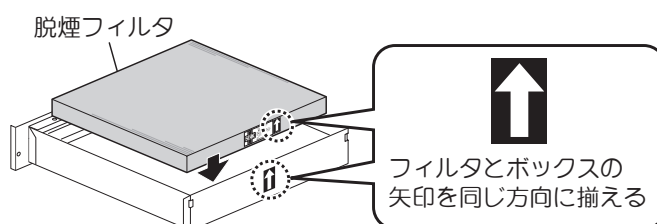
・各種フィルタの取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶつけたりすると、フィルタ内部を破損するおそれがあります。

・フィルタの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いには十分注意してください。

取り付けかた

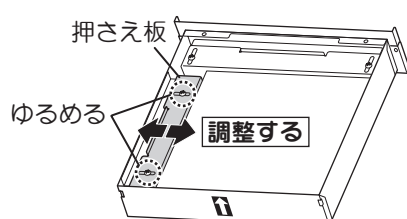
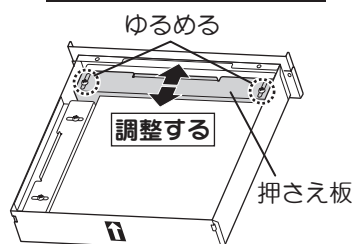
■ 脱煙フィルタの組み立て

脱煙フィルタは油吸着フィルタに重ねた状態でハニカム枠に収納され、
本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

1）ハニカム枠上側のねじ2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずして取り除きます。

2）輸送固定用ダンボールを取り除きます。

3）脱煙フィルタを袋から取り出し、ボックス下側の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルタをセットします。

お願い

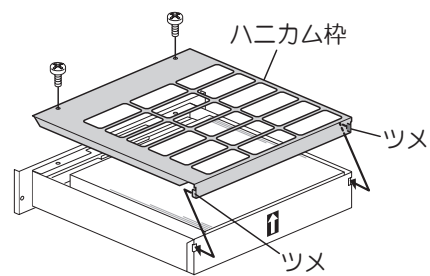
必ず脱煙フィルタとボックス下側の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。

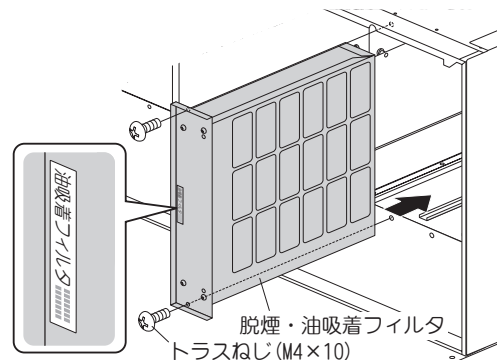
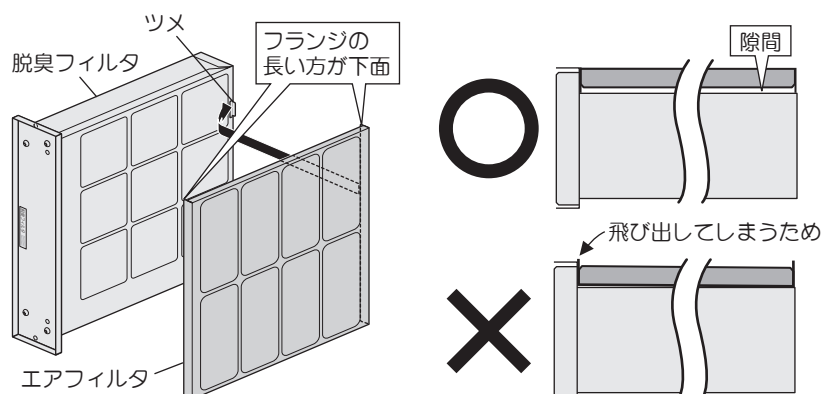
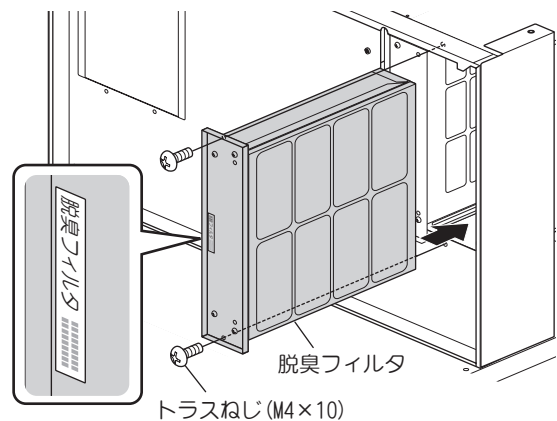
■ 脱煙フィルタが入りにくい場合は

フィルタの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。
ボックスに脱煙フィルタが入りにくい場合は下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルタを挿入してください。
挿入後は脱煙フィルタにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。

お願い

脱煙フィルタを挿入した後は、脱煙フィルタにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

取り付けかた

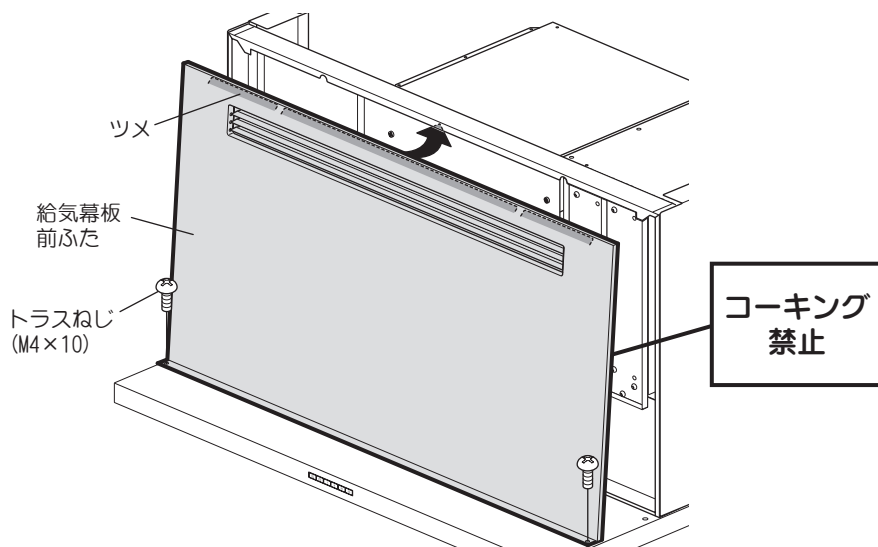
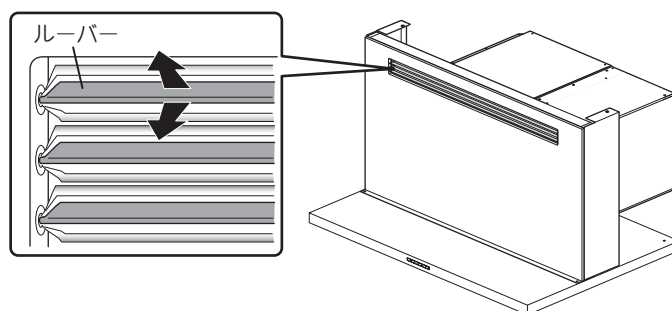
4）ハニカム枠下側のツメをボックス下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずしたねじ2本で固定します。

■ 各フィルタの取り付け

1）脱煙・油吸着フィルタを図のように差し込み、付属のトラスねじ（M4 × 10）２本で固定します。

2）脱臭フィルタ奥側のツメに当てるようにしてエアフィルタを重ねます。エアフィルタを重ねる際は、右下図のように脱臭フィルタとエアフィルタとの間にすきまが空く面を下側にしてください。

3）脱臭フィルタを差し込み、付属のトラスねじ（M4 × 10）２本で固定します。

取り付けかた

9. 給気幕板前ふたの取り付け

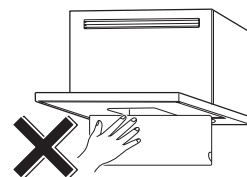
1）前ふた上部のツメを給気幕板本体の引掛け部に入れ、下側2ヶ所を付属品のトラスねじ（M4×10）2本で固定します。

お願い

フィルタを交換する際に前ふたを取りはずしますので、前ふたの外周はコーキングをしないでください。

2）ルーバーの向きを調節します。

10. 試運転

- 各操作スイッチを押し、運転状態を確認してください。
  スイッチの操作、運転状態等については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調が正しく運転されていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは施工上に発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。

⚠ 注 意

● **運転中はファンの中に指や物を絶対に入れないこと**
けがをすることがあります。

11. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

〔製造元〕 富士工業株式会社
本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺２丁目１－９
TEL 042(768)3754（営業部）